スタッフ(マネージャー業務)総括

JAPAN SPORT COUNCIL 日本スポーツ振興センター

第 8 回アジア太平洋ろう者競技会　～台湾・桃園～2015 年 10 月 1 日～9 日　　競技力向上事業

マネージャー　尾形滋子

■大会期間中の流れのシミュレーション
出発日から帰国日までの、毎日の一日毎の細かいシミュレーションをし、段取りを組み、確認が必要な項目を洗い出し、ひとつひとつ確認していきました。
予め細かく段取りを組んでいたので、当日も混乱することなく動くことができました。

〈主な確認事項〉
　移動手段（空港⇔ホテル、ホテル⇔試合会場。送迎バスがあるかどうか）
　本部との連絡手段（電話番号、メールアドレス）
　ID カードの受け取りの時期や場所
　通信手段（Wi-Fi や SIM カード等）
　ホテルの食事（朝のみか朝夕か）
　氷や昼食の調達手段

■宿泊ホテル
複数ある大会のオフィシャルホテルから今回のホテル（TAOYUAN HOTEL）を第一候補に出しました。料金はどのホテルも差はなかったので、以下の点を基準に選びました。
・ホテル内全館にて無料 Wi-Fi がある
・部屋が広い（最低でもスーツケースが広げられるくらいの広さ）
・試合会場との距離
（ただし、試合会場への送迎バスがある場合は、試合会場との距離よりも、周辺の飲食店やスーパー、コンビニが充実しているホテルを選んだ方がいいと思われます。）

■移動手段
移動手段は、大会期間中の特に重要な事柄です。
大会直前まで移動手段について明確な回答が得られなかったため、万が一に備え、最終手段のタクシー利用も想定しタクシー代を試算してみましたが、1日当たり、4台往復で約2万4000円でした。
直前に、空港⇔ホテルの送迎バスがあるとの回答をいただき、また現地で試合会場までの送迎バスがあるとの情報を得られ、移動手段については事なきを得ました。

・空港⇔ホテル（約30分）
　大会実行委員会の送迎バス
　（途中帰国の選手、松山空港分はタクシー）

・ホテル⇔試合会場（約40分～1時間）
　大会実行委員会の送迎バス
分散している試合会場毎に、送迎バスが出ており、時間も行き先によってまちまちでした。
ホテルのロビーにバスの予定表が貼り出されていましたが、念のため担当者に試合会場までの所要時間、バスのルートを確認し、行き違いによる時間のロスがないようにする必要があります。その上で、乗るバスの時間を決めました。

試合会場からホテルまでの最終バスの時間が17時と早く、試合終了が最終バスの時間を過ぎてしまうという問題がありましたが、担当者の方がホテル・試合会場両方に常駐していたため、バスの時間を交渉し臨機応変に対応していただけました。

■通信手段
ホテルには全室無料 Wi-Fi がありましたが、ホテル以外の場所でもスタッフはいつでも連絡がとれる状態にしておく必要があります。
方法はレンタル Wi-Fi ルーター、SIM カードがありますが、今回は選手の一人が海外用の携帯と SIM フリーの端末を持っていたため、SIM カードで対応しました。費用、使いやすさの面では SIM カードがお得と思われます。

〈参考〉 台湾の場合
レンタル Wi-Fi ルーター1台　10 日で約 7,000 円
SIM カード　10 日分 3 枚で約 4500 円

■食事
ホテルで朝夕食事をいただくことができたので、食事には不自由しませんでした。
ただ、普段食べ慣れないものが多かったので、選手やスタッフの体調維持のためには日本からインスタントのごはんやみそ汁等、食べ慣れているものを持参しておいた方がいいかもしれません。

〈朝食〉
ホテルのバイキング
〈昼食〉
おにぎり、スポーツゼリーは試合会場の大学内のコンビニで都度購入。
スポーツドリンクは、試合前日の夜にホテル向かいのスーパーで購入し、試合時コンビニで追加購入。
〈夕食〉
ホテルのバイキング

■氷
スーパーやコンビニには、小さい袋の氷が少ししかなく、品揃えがあまりよくありませんでしたが、会場に製氷機と、氷の提供があったので、今回は調達に困ることはありませんでした。
なお、チームのクーラーボックスは3個持参しましたが、トレーナーの氷の保存用と、昼食や飲み物の保存用の2個で足りました。選手各自のドリンクは、選手の自分用のクーラーバッグで対応しました。

■TD会議
オフィシャルホテルにて実施されたTD会議に松下選手、豊田選手、尾形が出席しました。（斎藤監督は移動時間が合わず出席できず）
今回はパワーポイントにてルール説明と抽選行われ、非常にスムーズな進行で2時間足らずで終了しました。
パワーポイントは英語と中国語が併記されており、TDは国際手話でお話しされていました。

■報告の作成
今大会の情報発信は、Facebook でのリアルタイム発信と、日本ろう者テニス協会掲載の報告書の2本で行いました。
Facebook は、大会の雰囲気や皆の様子、試合結果をリアルタイムに伝えるために行いましたが、色々なことに追われ、必要最低限になってしまい、プラスαを夜まとめて更新することが多くなりました。

協会ホームページ掲載の報告書は、毎日作成し、その日のタイムスケジュール、試合結果、選手コメント、コーチおよび監督のコメント、写真2～3点での構成でした。
選手コメントについて、前回までは選手に書いてもらっていましたが、それは試合に集中する選手には負担が大きいので、今回は口頭で話してもらい、文章化する形をとりました。試合が終わった後が一番話を聞き出しやすいのですが、連戦等で話を聞くタイミングを逃したりして、夜ホテルでコメントしてもらうことが多くなってしまいました。
選手の率直なコメントを聞くためには、あまり時間を開けすぎないようにするべきでした。

以　上